

## 2012年5月8日開催 第568回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員  
齊藤善也委員 佐藤卓己委員 佐藤友美子委員 東野博昭委員

### ■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役  
立野コンプライアンス室長 柚山ラジオ局長、池田担当ディレクター

### ◆ 審議事項

1)ラジオ番組「アスラジ 野村忠宏」(放送:1月22日(日)20:00~21:00)について意見を交換した。

2)委員交代について～齊藤委員の退任の報告と挨拶～

### 各委員の主な意見は次の通り。

- \* 素晴らしい番組だが、ラジオで1回だけ流して終わっていいのか。文字としてホームページに載せるなど、マルチに使うことを考えるべきだ。
- \* アナウンサーの受け答えがいつも一緒じゃなくて、相手によって変えていくとか、調子を合わせていくということも必要だと思う。
- \* 日頃ラジオはタレントがたくさん出てきて、ガチャガチャしているので、余計に地味な番組に聞こえたが、内容はとてもよかった。声がずっと同じトーンなので、手紙をアナウンサーが朗読するなど、何かそういう手がかりがほしかった。
- \* 非常によく取材をされているというか、よく話を聞き出しているインタビューで、今だから話せるということもあるが、それにしても良い話で、ちょっと感動した。
- \* オーディエンスの立場に立つと、1時間ポンと与えられるのは負担だし、番組表を見て1時間の番組をずっと聞くかという、まず、最初の段階でちょっと引いてしまう。
- \* 「未来のアスリートへ」というところに絞り込むと、結局、番組を聞こうという方が絞られる。じっくり聞けばスポーツをやっていなくてもいろんなことを感じ取れるすごくいい番組だったと思うので、絞り込むのがもったいない。
- \* 聞き手、すなわちアナウンサーの存在感がちょっと大き過ぎる。プロだから当然かもし

れないが、声だけじゃなく、存在感が相手を時に上回るような印象を受ける。

\* 話の中のキーワードを、もう一回、収録した後、見出しにしていく、そんな方法もあれば、もうちょっとコーナーがわかりやすくなった。

\* キー局と関西の放送局の番組サイトの充実ぶりの差がものすごくある。コンテンツの充実は、どの番組に関してももっとするべきだ。

以上